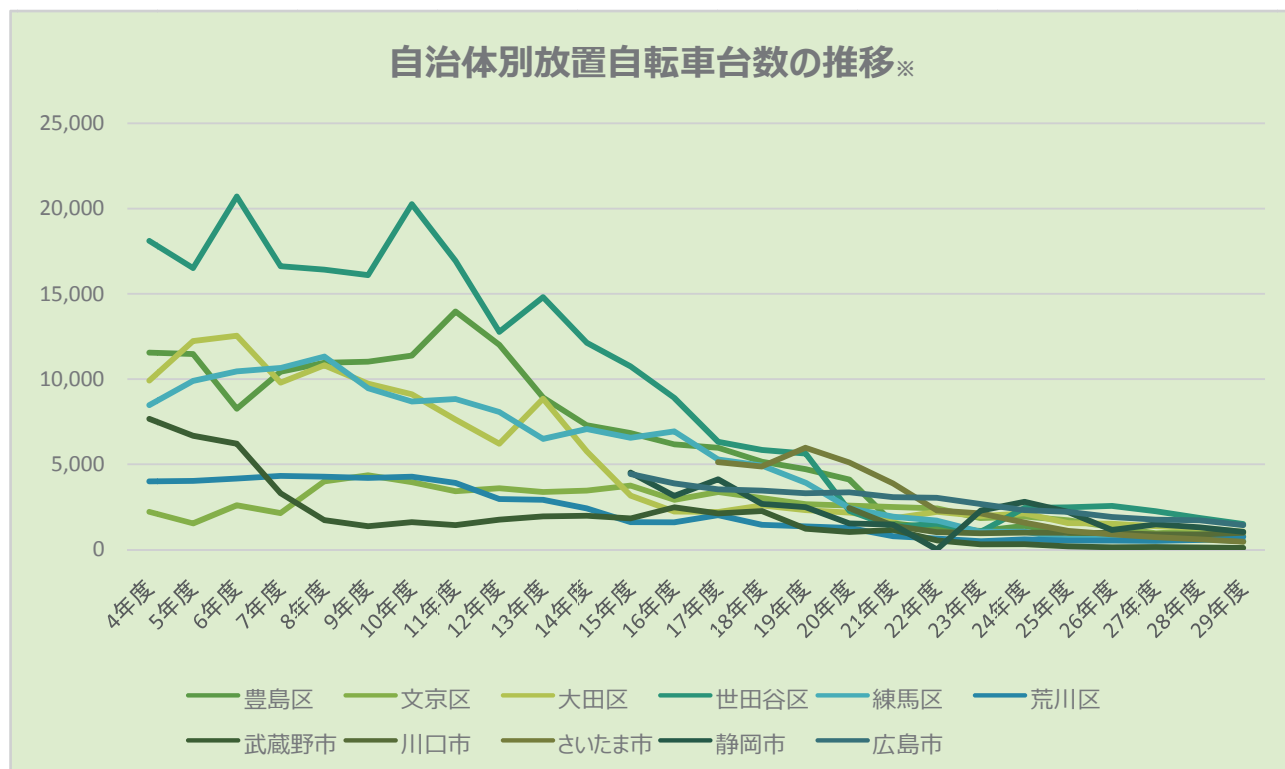


放置自転車と MCCOBA

駅前などに放置された引取り手のない自転車を再生し、毎年アジア・アフリカなどの開発途上国に再生自転車の譲与をすることから始まった MCCOBA は、放置自転車対策の結果発生する引取り手のない良質車を点検整備し、「再生自転車」の有効活用策の一つとして、開発途上国に無償譲与してきました。自治体ごとに様々な対策を講じ、多いところでは 15000 台程の放置自転車数の減少となっています。安全・安心な道路交通環境が整ってきているという嬉しい面と、その一方で、海外譲与し有効活用できる良質な自転車が減ったという一面もあります。

主な対策の例や、放置自転車減少の様子は以下のとおりです。



- ※ ● 放置台数は、東京都による一斉調査（毎年 10 月 or 11 月、晴天の平日、午前 11 時）による。ただし東京都外はそれぞれの調査方法での数値とする。
 ● 対象は自転車。
 ● 平成 23 年度までは、自転車 100 台、原付・自動二輪 50 台以上の放置台数がある駅のみ計上。
 ● 広島市においては、毎年 5 月の平日（大雨等を除く）の 17 時時点の調査による。
 ● 静岡市の放置自転車実態調査の概要は以下のとおり。
 ・実施時期：11 月下旬（雨が少なく、気温が過ごしやすい）※雨天等で 12 月上旬へ延期される場合もある
 ・調査場所：放置自転車禁止規制区域内及び駐輪場等※区域外も含む
 ・調査方法：1 日（6 時、10 時、15 時の時点での台数を調査）※ 15 時の台数を調査台数としている

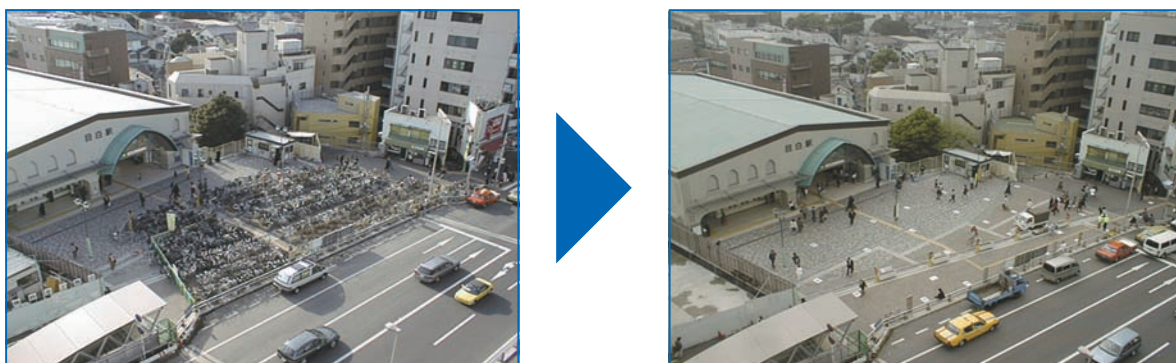
大田区——複数の無料自転車等駐車を拡張・有料化し、放置禁止区域を拡大したことにより、減少。



川口市——放置自転車禁止のチラシ、うちわ等の配布。



豊島区——池袋駅、目白駅周辺では特に対策の効果が。写真は目白駅前。



武蔵野市——吉祥寺駅周辺の様子。



広島市——対策の他にもイベントやキャンペーンを実施。

